保証書

マイコン沸とう電動ポット保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型名	CD-JE22/CD-JE30	修理メモ
※お客様 お名前	☎	
※お客様 ご住所 〒		
※お買い上げ日 年 月 日	※販売店名・住所	
保証期間 お買い上げ日より 本体1年	☎	

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1. ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
   (ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
   (ヘ) 本書のご提示がない場合。
   (ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
   (チ) 消耗品などの交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2451

CD-JE

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内
部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ
http://www.zojirushi-de-shopping.com/

お客様ご相談センター ナビダイヤル 0570-011874
市内通話料金でご利用いただけます

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
●携帯電話・PHS・IP電話など(ナビダイヤルが利用できない電話)でのお問い合わせ……………… Tel (06)6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ……… Fax (06)6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

●お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

愛情点検 長年ご使用のマイコン沸とう電動ポットの点検を！

こんな症状はありませんか
●ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
●保温ランプに切りかわらないときがある
●その他の異常や故障がある

ご使用中止
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

ZOJIRUSHI

家庭用

マイコン沸とう

電動ポット

型名 CD-JE22型
CD-JE30型

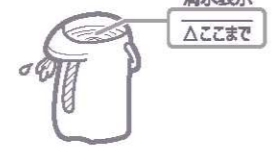
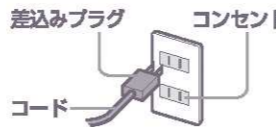
取扱説明書

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

保証書つき

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

⚠警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。	⚠注意 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

してはいけない「禁止」内容です。	実行しなければならない「指示」内容です。

⚠警告

分解禁止
改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止
水につけたり、水をかけたりしない
流し台など水にぬれた場所に置かない
ショート・感電の恐れがあります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。

接触禁止
蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない
やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

禁止
蒸気口をふきんなどでふさがない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。
上ぶたの変形・変色や故障の原因になります。

禁止
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

禁止
満水表示以上の水を入れない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

禁止
上ぶたをつけたまま残り湯をすてない
上ぶたがはずれたときに湯がかかってやけどする恐れがあります。

禁止
本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上ぶたを持って移動や排湯をしない
自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

禁止
ポットを転倒させない
自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

禁止
上ぶたを勢いよく閉めない
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

禁止
交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

禁止
コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止
コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁止
氷を入れて保冷用に使わない
結露が生じ、感電・故障の恐れがあります。

禁止
水以外のものを入れたり、わかしたりしない
泡立ちが起こり、内容物がふき出してやけどの恐れがあります。また水路が詰まったり内容器の焦げつきや腐食・フッ素被膜がはがれる原因になります。
- 牛乳・酒・スープ・備長炭・ティーバッグ・お茶の葉
- インスタント食品の調理
- レトルト食品のあたためや食材をポリ袋などに入れて加熱する調理

● お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

⚠警告

禁止
マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止
マグネットプラグをなめさせない
感電やけがの原因になります。特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

必ず実施
内ぶたパッキンが白く変色したら交換する
傾けたり誤って倒したとき に湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

必ず実施
上ぶたは確実に閉める
倒れたときに湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

必ず実施
定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

必ず実施
差込みプラグの刃(プラグの先端)および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。

必ず実施
差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

必ず実施
異常・故障時には直ちに使用を中止する
そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
- 差込みプラグ・コードが異常に熱くなる
- コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- 本体から煙が出たり、焦げくさいにおいがする
- 本体の一部が割れたり、ゆるみやがたつきがある
- 蒸気が10分以上出続け、保温に切りかわらない

このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

⚠注意

接触禁止
上ぶたを開けるとき、出る蒸気に触れない
やけどの原因になります。

接触禁止
使用中や使用後しばらくは高温部に触れない
やけどの原因になります。

禁止
不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない
火災の原因になります。

禁止
湯わかし中は、湯を注がない
湯が飛び散りやけどの原因になります。

禁止
本体を持ち運ぶときは、上ぶた開閉つまみに触れない
上ぶたが開いてけがややけどをすることがあります。

禁止
出湯中に本体を回さない
湯が飛び散りやけどの恐れがあります。

禁止
壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

禁止
熱源のそばやIH調理器の上で使用しない
火災・故障の原因になります。

禁止
専用の電源コード以外は使用しない
電源コードは他の機器に転用しない
また海外仕様の電気製品に使用しない
故障・発火の恐れがあります。

プラグを抜く
使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

必ず実施
お手入れは冷めてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

必ず実施
差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く
感電やショートして発火することがあります。

お願い

■空だきはしない 火災・故障の原因になります。

■落とす・ぶつけるなどの衝撃を与えない 故障・破損の原因になります。

■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない 蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■キッチン用収納棚などの上で湯わかしをする場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する 変色や変形の原因になります。

■凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ず内容器内の水を完全にすてる 凍結による故障の原因になります。

■本体を引きずって移動しない 机などに傷がつく恐れがあります。

■パネル部には湯がかからないように注意する 故障の原因になります。

■ラジオなどの近くで使わない ラジオ・テレビ・無線機・インターホンなどへの影響のないところまで離して使ってください。雑音が入る恐れがあります。

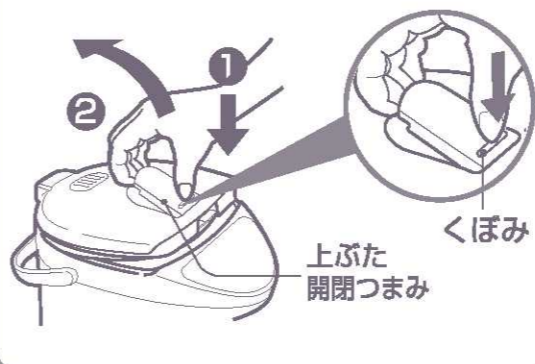
各部のなまえと扱い方

- ●使用の際にはコードを束ねている結束バンドをはずしてください。
- ●コードは束ねて使用しないでください。（コードが熱くなり、故障の原因になります。）

操作部　●キーは確実に押してください。

上ぶたの開け方・閉め方

開け方
1. 「上ぶた開閉つまみ」のくぼみを押す
2. そのまま引き上げ、上ぶたを開ける

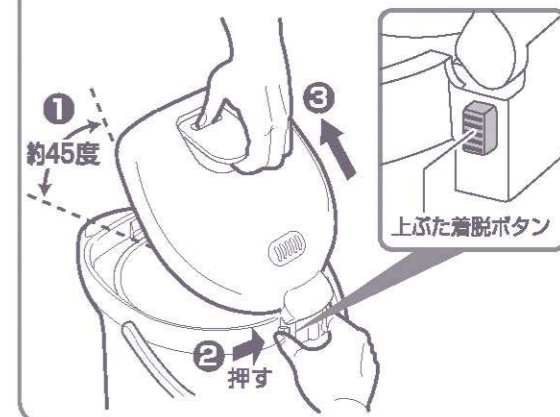
閉め方　上ぶたを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

上ぶたのはずし方・つけ方

はずし方
1. 上ぶたを約45度開ける
2. 「上ぶた着脱ボタン」を押す
3. 押したまま、斜め上に引き抜く

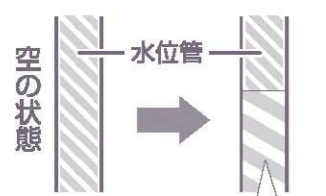
つけ方　斜め上から奥に元どおり押し込む

部品の交換・購入について

- ●損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
- ●消耗品は保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
- ●お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。（ホームページでのご購入は裏表紙参照）

	部品名	部品番号
消耗品	内ぶたパッキン	625702-00
	容器ネット	626251-00
別売品	ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット（30g×4包入）	CD-KB03-J
	電源コード	CD-KD12-J

湯をわかす

1 上ぶたを開け、別の容器で 水を入れる

水位管のストライプラインの太さがかわり水の量がひと目で分かります。

水を入れるとストライプラインが太くなります。

お願い

- 蛇口から水を直接入れたり、流し台に置いて底面をぬらさないでください。（本体に水が入り故障の原因）
- 本体および操作部に水がかからないように注意してください。（水が入り故障の原因）
- 「満水表示」以上、水を入れないでください。（蒸気口から湯がふきこぼれる原因）
- 熱湯を入れないでください。（空だき防止機能がはたらく原因）→P.9
- 水以外のものは入れないでください。
- 市販の水質改質材（炭など）やミネラル添加材を入れて使用しないでください。（かけらが詰まり故障の原因）

使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

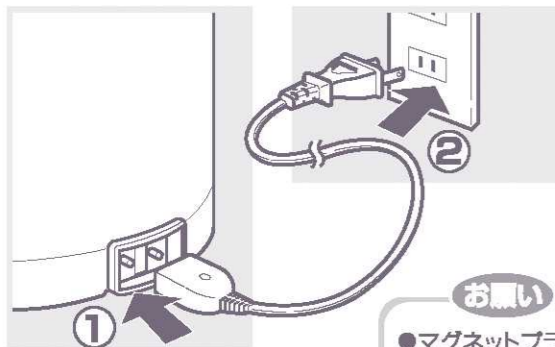
- **初めてお使いになるとき**
- **長期間お使いにならなかったとき**

容器ネットを取りつけ、一度湯をわかし、ロックを解除して「給湯」キーを押して1L程度の湯を注いだあと、残り湯をすててから、ご使用ください。

- **ミネラルウォーターの使用について**

一部のミネラルウォーターを使用すると、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル分）であり、有害ではありません。

2 上ぶたを閉め プラグを接続する

上ぶたは確実に閉めてください。
（倒れたときに湯が流れ出てやけどの恐れ）

奥までしっかり差し込んでください。
（感電・ショート・発煙・発火の原因）

お願い

- マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させないでください。

蒸気セーブを行いながら
自動的に湯わかしを開始

沸とうランプが点灯、保温ランプが点滅

点滅
再沸とう
点灯
98
90
60
7時間タイマー

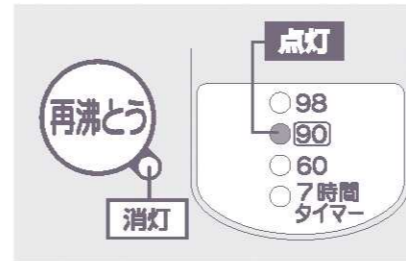
蒸気セーブ（沸とう）

沸とう直前にヒーターのパワーを下げ、気になる蒸気をおさえた、沸とう湯わかし機能です。
（湯温は約100℃になります。）

- 室温が低い冬場や湯の量が少ない場合は蒸気が見えやすくなります。

湯わかしが完了すると
自動的に保温を開始（90保温）

沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯

点灯
再沸とう
消灯
98
90
60
7時間タイマー

湯わかしが終わるまで	
2.2L	約15分※1
3.0L	約20分※1

※1 この時間には沸とう後のカルキとばし時間（約3分）が含まれています。
（室温23℃、水温23℃、満水の場合）

湯わかし完了後 湯温が約90℃になるまで	
2.2L	約40分
3.0L	約40分

●保温の設定●

98保温 →P.10
60保温 →P.10

お願い

- 保温中に湯が少なくなったら水をつぎ足してください。（自動的に湯わかしが始まります。）ただし、つぎ足す水の量が少ないと湯わかしにならない場合があります。その場合は「再沸とう」キーを押してください。→P.9
- やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。
  - ・蒸気口にふきんをかけない
  - ・蒸気口から出る蒸気に注意する
  - ・沸とうランプ点灯中は上ぶたを開けない
  - ・湯わかし中は湯を注がない

湯を注ぐ

1 ロック解除 を押す

ロック解除ランプが点灯し、湯が注げる状態になります。

●ロック解除ランプが消えているときは湯は出ません。

●内容器が空のとき、ロック解除して「給湯」キーを押さないでください。

2 給湯 を押して湯を注ぐ

注ぐとき本体が回らないように注意してください。

●湯わかし直後やしばらく給湯していないときは、湯がぬるい場合があります。1杯目の湯はすててください。

●沸とう中や沸とう後しばらくは湯が出にくいことがあります。

●湯わかしおよび保温中は本体が熱くなりますので注意してください。

注ぎ終わると約10秒後にロック解除ランプが消え、「自動給湯ロック」がかかります。

自動給湯ロック

うっかり「給湯」キーに触れたとき、湯が出ない安全機能です。

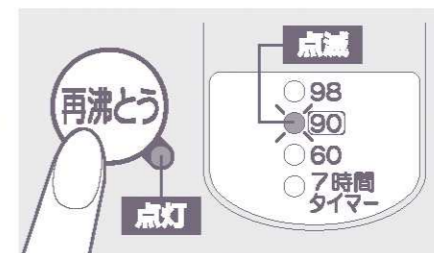
●注がないときも約10秒後にロックされます。

湯を注いだあと、製品を傾けたり、ゆすらないでください。
（注ぎ口からしずくが垂れてやけどの恐れ）

再沸とう

保温中の湯を再びわかすときに使います。

を押す 沸とうランプが点灯、保温ランプが点滅し、湯わかしを開始します。

再沸とうが完了すると保温に切りかわります。

再沸とうが終わるまでの時間 (室温23℃、満水の場合)
98保温の場合
1～2分
90保温の場合
3～5分

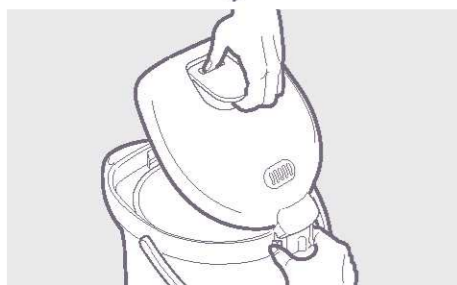
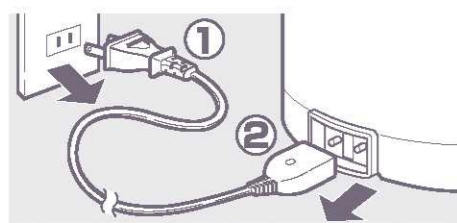
●再沸とう時は、蒸気セーブにならないことがあります。

●再沸とう中や再沸とう後しばらくは湯が出にくいことがあります。

お願い

●再沸とうさせるときは、給水表示以上の湯が入っていることを確かめてから「再沸とう」キーを押してください。

残り湯をすてる

1 プラグを抜き、上ぶたをはずす

2 両手で本体を持ち「湯すて位置」からすてる

ハンドルをしっかりおさえてください。

湯すて位置

湯をすてるときは

●すてる湯や蒸気に注意してください。
（やけどの恐れ）

●注ぎ口からしずくが垂れることがあるので注意してください。
（やけどの恐れ）

お願い

●ぬれた手で差込みプラグやマグネットプラグを持たないでください。（ショート・感電の恐れ）

●上ぶたは必ずはずして湯をすててください。
（上ぶたがはずれ、やけどの恐れ）

●操作部やヒンジ部・ハンドル・プラグ差込み口に湯がかからないよう注意してください。
（やけど・故障の原因）

●容器ネットをなくさないでください。

●1日1回は残り湯をすててください。
（水アカの付着の原因になります。）

空だき防止

5つのランプが同時に点灯する

●空だきを繰り返すとフッ素被膜が変色したり、はがれたりする原因になりますのでご注意ください。

次のようなときは、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能がはたらいてヒーターへの通電が止まり、表示でお知らせします。

●水を入れずにプラグを接続したとき

●給水表示以下の水量で湯わかししたとき

●湯を使いきったまま放置したり、給水するため上ぶたを開けたまま放置したとき

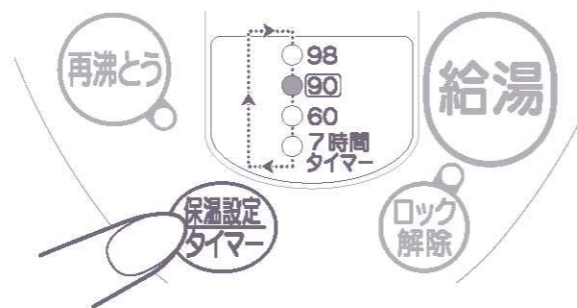
●プラグを接続後、すぐ熱湯を入れたとき

プラグを抜き、内容器が十分冷めてから水を入れ、再びプラグを接続する

98保温／60保温／7時間タイマー

を押して設定を切りかえる

キーを押すたびにランプが移動し、保温温度の変更と7時間タイマーの設定ができます。

90（初期）→ 98 → 90 → 60 → 90・7時間タイマー

●切りかえは保温中でも行えます。
（湯の温度により、自動的に再沸とうを開始する場合があります。）

プラグがはずれた場合

●誤ってプラグがはずれた場合、再びプラグを接続してください。
●数分間プラグがはずれた状態が続いたあと、再びプラグを接続すると、90保温に戻り、自動的に再沸とうを開始することがあります。

コーヒーや紅茶・カップめんに

98保温

98℃はコーヒーや紅茶・カップめんをつくるのに適した温度です。

「98」を選ぶ

湯わかしが終わると沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯

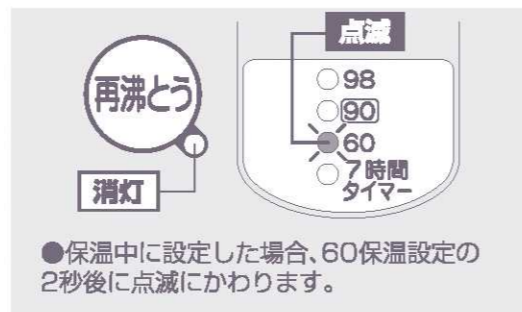
●沸とうし続けるのを防ぐため、気圧などの条件によっては、96～97℃で保温することがあります。

玉露などに

60保温

湯温を約60℃にします。

「60」を選ぶ

湯わかしが終わると沸とうランプが消灯、保温ランプが点滅

●保温中に設定した場合、60保温設定の2秒後に点滅にかわります。

湯温が約60℃になると保温ランプが点滅から点灯にかわる

●水量·室温などにより時間が変化することがあります。
●保温温度を早く下げたい場合は、湯の量を減らしてください。
●湯温が下がっている途中で給水すると、沸とうしないことがあります。

湯わかし完了後、湯温が60℃になるまでの時間

1.0Lの場合	約2時間10分
2.2Lの場合	約4時間10分
3.0Lの場合	約4時間30分

（室温23℃の場合）

就寝時などしばらく使わないときに

7時間タイマー

●90保温に設定します。

就寝時などしばらく使わないときは電気代を節約できます。
（7時間タイマー中はヒーターへの通電が止まります。）

「7時間タイマー」を選ぶ

タイマーランプと保温ランプが約2秒間同時に点灯

約2秒後

保温ランプが消灯し、7時間タイマー設定完了

7時間タイマーが自動的に開始

自動的に湯わかし開始

タイマーランプが消灯、沸とうランプが点灯、保温ランプが点滅

7時間後に湯わかし完了

沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯

●室温·水温·水量により7時間より前に湯わかしが完了します。

●一度プラグがはずれると７時間タイマーは解除されますので改めて設定してください。
●タイマーを取り消すときは、「保温設定／タイマー」キーを押して保温温度を選択するか「再沸とう」キーを１回押してください。
●「98 保温」「60 保温」の７時間タイマー設定はできません。

お手入れ

必ずプラグを抜き、残り湯をすて、本体が冷めてから行ってください。

- 底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)
- シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類(ナイロン・金属製など)・漂白剤などを使わないでください。(フッ素被膜が傷つく原因)
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器を使用しないでください。(樹脂の変形の原因)
- 長期間使用しないときは、十分乾燥させて、ニオイがつかないようにし、ポリ袋などに入れて保管してください。

内ぶた ぬれた柔らかいスポンジでふき取る

内容器 定期的にクエン酸洗浄をする →P.13

このようなときに…
- 赤さび状の斑点(もらいさび)がある
- 乳白色・黒色などの変色・膜状のものが浮遊している

(使用される水質や湯わかしの回数によって汚れの状態は違ってきます。)

容器ネット 内容器からはずし、ブラシで洗う

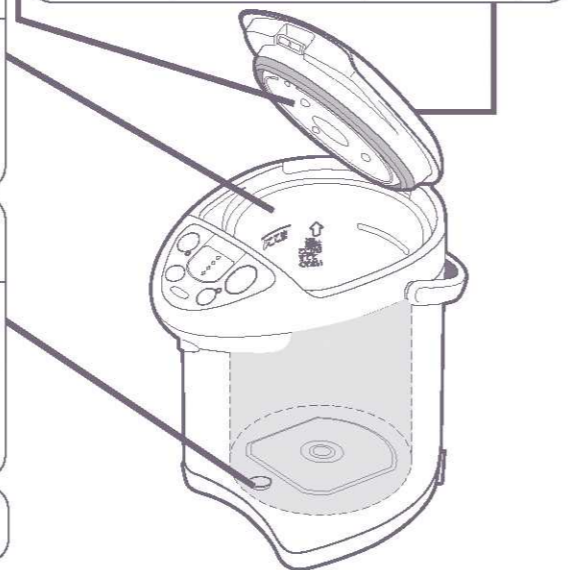
引き抜くとはずれます。取りつけるときは、しっかりと押し込みます。

汚れが取れない場合は、容器ネットを交換してください。

- 必ず取りつけて使用してください。(異物が電動ポンプ内に入り、湯が出なくなる原因)

電源コード 乾いた柔らかい布で汚れをふき取る

本体・上ぶた よく絞った柔らかい布で汚れをふき取る

- 丸洗いや操作パネル部には水をかけないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)

ゴムカバーについて

本体の底にあるゴムカバー2個は、安全のために取りつけていますのではずさないでください。また、万一はずれたときは指で押し込んで元どおりに取りつけてください。

内ぶたパッキンの交換

内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目やすにご確認ください。

新しい内ぶたパッキンは、ぬれた柔らかいスポンジでふいてから取りつけてください。

はずし方

① 3本のネジをゆるめる
② 内ぶたパッキンをはずす

- ネジは上ぶたからはずさないでください。万一はずれた場合、ネジをなくさないでください。

つけ方

① 内ぶた外周に、内ぶたパッキンを図の通りきっちりとはめ込む
② ネジを確実に締めつける

お願い
- 内ぶたをはずした場合は、正しく取りつけてください。

内ぶたパッキンが白く変色してきたら… ▶ 新しい内ぶたパッキン(有料)と交換してください。

内ぶたパッキンが白く変色すると、傾けたり誤って倒したときに、上ぶたと本体のすき間から湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

1〜3カ月に1回は

クエン酸洗浄(ピカポット)

お願い 泡立ち、ふきこぼれ防止のため弊社のピカポット(ポット内容器洗浄用クエン酸)をお使いください。(別売品)→ P.4

準備 内容器に容器ネットが取りつけられているか確認する

- 容器ネットが汚れている場合は、内容器からはずし、ブラシで洗って再度取りつけてください。

1 コップにクエン酸30gを入れて、ぬるま湯で溶かし、内容器に水といっしょに満水表示(△ここまで)まで入れる

- 水は満水表示以上入れないでください。(ふきこぼれる恐れ)

2 上ぶたを閉めプラグを接続して、(再沸とう)を3秒以上押す

洗浄時間 約1時間30分※

※洗浄時間は、水量・水温・室温などにより多少かわります。

3 プラグ・上ぶたをはずして湯すて位置から湯をすてる

4 水だけをわかし、湯をコップ1杯程度吐出させたあと、残りの湯をすてる
(内容器および注ぎ口内部をすすぐため)

途中でクエン酸洗浄を取り消す場合は **プラグを5秒以上** 抜いてください。

- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

湯をすてるときは
- すてる湯や蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)
- 注ぎ口からしずくが垂れることがあるので注意してください。(やけどの恐れ)

- アルカリイオン水をご使用になる場合は内容器にカルシウムが付着しやすくなります。また、内容器や容器ネットに付着した水アカなどの汚れをそのままにしておくと、湯わかしの音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。

商品Q&A

質問	回答	参照
水以外のものを入れてもいいのですか?	故障の原因や、入れたものがふき出してやけどの恐れがあります。水以外のものは入れないでください。	P.2
毎日湯はかえないといけないのですか?	水アカ付着の原因になりますので、1日1回は、残り湯をすててください。	P.8
ミネラルウォーターを使用してもいいのですか?	一部のミネラルウォーターを使用すると、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分(ミネラル分)であり、有害ではありません。	P.7
アルカリイオン水を使用してもいいのですか?	アルカリイオン水をご使用になると、内容器にカルシウムが付着しやすくなります。まめにお手入れをしてください。	P.13
クエン酸洗浄中に湯を飲んでしまった!!	クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従ってください。	
電気ポットの電源を入れたまま外出しても大丈夫?	万一、水がなくなったときに空だき防止機能(ヒーターへの通電をOFFにします。)がはたらきますのでご安心ください。	P.9

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

	症状	原因	処置
湯をわかす	湯がわかない	プラグがはずれていませんか？	プラグを差し込んでください。
	湯がにおう	内容器に水アカなどがついていませんか？ お手入れ(クエン酸洗浄)されていますか？	クエン酸で内容器をお手入れしてください。→P.13
		長期間使わなかった	一度湯をわかし「給湯」キーを押し、1L程度の湯を注いだあと、残り湯をすててからご使用ください。→P.7
	●使いはじめはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。 ●水道水に含まれる消毒用塩素(カルキ臭)が残ることがあります。		
	注ぎ口や蒸気口から湯が自然に出る	水を満水表示以上入れていませんか？	水を満水表示以下に減らしてください。
湯を注ぐ	湯が出ない 出にくい	沸とう直後数分間は、湯が出にくくなることがあります。	一度上ぶたを開け、泡を逃がしたあと上ぶたを閉めてください。(蒸気に注意)
		内容器・容器ネットに水アカなどがついていませんか？	内容器・容器ネットをお手入れしてください。→P.12
		自動給湯ロックになっていませんか？	(ロック解除)を押してから(給湯)を押してください。→P.8
		プラグがはずれていませんか？	プラグを差し込んでください。
		水路にカルシウムが付着して湯が出にくくなることがあります。	クエン酸で内容器をお手入れしてください。→P.13
保温	湯の中で膜状のものが浮遊している(フッ素被膜がはがれてきているのでは？)	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器の腐食やフッ素被膜のはがれではありません。	
	内容器に乳白色のザラザラしたものがつく(湯わかし中に大きな音がする)	内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	
	内容器に赤さび状の斑点がつく	水の中の鉄分によるもので、内容器の腐食ではありません。	
こんな表示をしたときは	5つのランプが同時点灯する(再沸とう 点灯 / 点灯 98 90 60 7時間タイマー)	水が少なかったり、熱湯を入れたため、空だき防止機能がはたらいています。→P.9	プラグを抜き、内容器が十分冷めてから水を入れ、再びプラグを差し込んでください。
	保温ランプとタイマーランプが同時点滅する(点滅 98 90 60 7時間タイマー)	クエン酸洗浄中です。→P.13	クエン酸洗浄を取り消す場合、プラグをいったん抜き、5秒以上たってからもう一度差し込んでください。
上ぶたの消耗	内ぶたパッキン	●内ぶたパッキンは消耗品ですので、1年を目やすにご確認ください。上ぶたと本体のすき間から蒸気がもれたり、白く変色してきた場合は交換してください。→P.12	
	樹脂部品	●上ぶたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂部品が変色したりザラザラしてきた場合は、交換(有料)してください。	

水アカ

お使いいただいているうちに、水の中に含まれているカルシウムなどのミネラル分が、内容器や容器ネットに付着してきます。これは「水アカ」と言われているもので、有害ではありません。

	症状	処置
その他	本体が熱くなる	●湯温や室温が高い場合は本体外側が約60℃になる場合がありますが異常ではありません。
	電源コードが熱くなる	●湯わかし中は、電源コードが熱くなる場合がありますが異常ではありません。
	上ぶたを開閉するときに「カラカラ」という音がする	●万一転倒した場合、湯の流出を防止するためのおもりの動く音です。異常ではありません。
	表示部がくもる	●蛇口から給水したり、流し台に直接置いて底面がぬれたりすると、本体に水が浸入し、表示部がくもることがあります。ショート・感電の原因になりますので使用を中止してください。

内容器(フッ素加工)は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

仕様

型名		CD-JE22	CD-JE30
定格容量		2.2L	3.0L
電源		交流100V 50/60Hz	
消費電力		985W	
消費電力量	年間	363kWh／年	422kWh／年
	1日当たり	0.99kWh／日	1.16kWh／日
コードの長さ		1.0m	
外形寸法(約cm)		幅21.5×奥行28×高さ25.5	幅21.5×奥行28×高さ29.5
質量(コード含む)		約2.2kg	約2.3kg
電動ポンプ(電動機)消費電力		約1.5W	

●消費電力量とは、日本電機工業会自主基準による測定の場合です。
(室温23℃、湯わかし2回/1日、再沸とう1回/1日、保温90℃で23時間/1日、365日/年間)
●7時間タイマー使用時の消費電力は約0.2Wです。●電動ポンプ(電動機)消費電力とは、給湯時の消費電力です。
●高さは、ハンドルを倒した場合の寸法です。
●特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさけください。
●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary. After sales-service for this appliance is not available outside of Japan.

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

ただし、内ぶたパッキン・容器ネットは消耗品のため、保証期間内でも「有料」です。

3. 修理を依頼されるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。